

グラフ・資料統合 No.1(水のゆくえ)

L2 発展

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L2(自校作成・大阪C問題レベル＝設問も英語)	目標時間:20分	満点:100点(自己採点)
-----------------------------	----------	---------------

Read the passage and the table, and answer the questions. ※発展レベルは設問も英語です。表の(X)に入る数は、本文の数字の関係から計算します。(A)～(D)は問3で使う印です。

- ① You wake up, wash your face, and drink a glass of water. Before you leave home, you have already met water many times. How much water does one person use at home in a day? In Japan, the answer is about two hundred liters. **A** Where does all that water go? The table shows the answer.
- ② The bath uses the most — about forty percent of all the water at home. The toilet uses about twenty-one percent. The kitchen uses a little more than the washing machine. When I saw these numbers, I understood one thing: saving water starts in the bathroom, not in the kitchen.

[表]家庭で使われる水の内わけ(%)				
ふろ	トイレ	台所	洗たく	洗面・その他
40	21	18	(X)	6

- ③ But the water in the table is only the water we can see. We also “use” water in another way. To make one hamburger, about two thousand four hundred liters of water are needed — for growing the vegetables, feeding the cows, and making the bread. A cotton T-shirt needs even more. This invisible water travels inside the things we buy, often from countries far away. **B**
- ④ And water is not everywhere. In the world, about two billion people cannot get safe water easily. In some places, children walk for hours every day to bring water home, and that time takes away their chance to go to school. For them, a glass of clean water is not a small thing at all. **C**
- ⑤ So, what can we do? The first step is to(①)how much water we use. A shower that is one minute shorter saves about ten liters. Turning off the tap while you brush your teeth saves about six liters each time. Choosing food and things more carefully also saves the invisible water behind them. **D** In Japan, water looks endless. But it is not endless — it is a gift that travels around the earth. Every small drop counts.

[注] liter リットル / washing machine 洗たく機 / cotton 綿 / billion 10億 / tap じゃ口 / endless 無限の / drop しずく

グラフ・資料統合 No.1(水のゆくえ) **L2 発展**

設問 本文の内容について、最も適切なものをア～エから1つずつ選ぼう。

問1(15点) The number which should be put in(X)is ア 12 イ 15 ウ 18 エ 21	()
問2(15点) The word <u>invisible</u> in paragraph ㉓ is used to talk about ア water hidden inside pipes at home イ rain that falls at night ウ water in the deep sea エ water used far away to make the things we buy	()
問3(15点) The sentence “That is about one thousand glasses of water.” should be put in ア (A) イ (B) ウ (C) エ (D)	()
問4(15点) The word which should be put in(①)is ア forget イ sell ウ know エ hide	()
問5(20点) According to the passage and the table, which is true? ア The bath uses more water than the toilet and the kitchen together. イ Making one hamburger needs about twenty-four liters of water. ウ Everyone in the world can get safe water easily. エ A shorter shower saves no water.	()
問6(20点) The writer’s main message is that ア we should stop eating hamburgers イ Japan has the most water in the world ウ water is free, so we can use it freely エ water looks endless, but every small drop counts	()

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえ
た問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
イ	エ	ア	ウ	ア	エ	/100

問1 正解 **イ**(15点) | 割合の(X)は「合計100%」から引き算する

根拠 表は割合(%)なので合計は100。 $100-(40+21+18+6)=15$ 。第②段落の「台所は洗たくより少し多い」($18>15$)という関係とも一致する。

誤答の切り方

ア	12だと合計97%。3%足りない。
イ	15で合計がちょうど100%。「台所>洗たく」の関係も成立する。
ウ	18は台所と同じ数。「少し多い」という本文の関係がこわれる。
エ	21はトイレと同じ数。合計も106%になってしまう。

 **この形式のコツ** %の表を見たら、まず「合計100」をメモする——それだけで(X)は引き算の問題になる。出した答えは、本文の大小関係(a little more than など)で必ず検算する。

問2 正解 **エ**(15点) | 語の意味は「その段落の例」が決める

根拠 第③段落の例は「ハンバーガー1個に約2,400リットル」「Tシャツはもっと多い」——買う物の中に隠れて、遠い国から旅してくる水。invisible water = 目に見えないが、物の生産に使われた水。

誤答の切り方

ア	家のパイプの話はしていない。第①～②段落の「見える水」との対比が段落の主役。
イ	夜の雨の話はない。
ウ	深海の話もない。
エ	段落の2つの例(ハンバーガー・Tシャツ)と「遠い国から旅してくる」の説明に一致する。

 **この形式のコツ** 知らない単語・比喩は「同じ段落の具体例」とセットで決める。例を2つ拾って共通点を言えれば、それがその語の意味——単語帳より本文が正確。

問3 正解 ア(15点) | 挿入文の That + 数字は「直前の数字の言い換え」

根拠 挿入文＝「それはコップ約1,000杯分だ」。1杯200mLとすると、200リットル＝1,000杯。指せる数字は第❶段落の about two hundred liters だけ。(A)に置くと「1日約200リットル→コップ1,000杯分」という実感の言い換えになる。

誤答の切り方

ア	(A)200リットルの直後——That が指す数字がそろそろ唯一の場所。
イ	(B)第❸段落の数字は2,400リットル。1,000杯(200リットル)と合わない。
ウ	(C)第❹段落の数字は「20億人」。杯数の言い換えがつかない。
エ	(D)第❺段落の数字は10リットル・6リットル。桁がちがう。

🔑 この形式のコツ 数字を含む挿入文は、本文の数字と「計算でつながるか」を確かめる(200L＝コップ1,000杯)。数字の一致は this や even よりも強い証拠になる。

問4 正解 ウ(15点) | 「第一歩」の空所は、直後の具体行動から逆算する

根拠 The first step is to(❶)how much water we use. の直後には「シャワー1分短縮＝約10リットル」「歯みがき中に止める＝約6リットル」と、使用量の数字が並ぶ。数字を並べる目的＝まず「知る」こと。

誤答の切り方

ア	forget(忘れる)では、直後に数字を教えてくれる流れと真逆。
イ	sell(売る)は意味が通らない。
ウ	know——「どれだけ使っているかを知る」が第一歩。この文章自体が表と数字で「知らせて」いることとも重なる。
エ	hide(隠す)も流れに合わない。

🔑 この形式のコツ The first step is to ～(第一歩は～)の空所は、そのあとに続く具体的な行動の「共通の入り口」を選ぶ。数字がたくさん出てくるなら「知る」、練習の話なら「試す」——後ろから逆算する。

問5 正解 ア(20点) | 「AはBとCの合計より多い」は足し算1回で判定できる

根拠 ふろ40%、トイレ21%+台所18%=39%。40>39なので、ふろは2つの合計よりわずかに多い——正しい。ぎりぎりの数字で作られた選択肢ほど、暗算せず紙で確かめる。

誤答の切り方

ア	21+18=39<40。計算で確定できる。
イ	本文は two thousand four hundred(2,400)リットル。24はケタのすり替え——英語の数の読み取りを試すワナ。
ウ	第④段落と矛盾——約20億人は安全な水を簡単に得られない。
エ	第⑥段落と矛盾——1分短いシャワーで約10リットル節約できる。

 この形式のコツ 英語の大きな数(thousand / million / billion)は、選択肢との照合の前に必ずアラビア数字にメモし直す。2,400 と 24——ケタのワナは、数字をメモした人には絶対に効かない。

問6 正解 エ(20点) | 主張は最終段落の逆接(But)のあとに置かれる

根拠 最終段落 In Japan, water looks endless. But it is not endless — it is a gift. Every small drop counts. が直接の根拠。見える水(表)→見えない水→世界の水→小さな行動、という全段落がこの一文に集まる。

誤答の切り方

ア	ハンバーガーは「見えない水」の例。やめろとは言っていない。
イ	「日本が世界一」という記述はない。
ウ	「水は無限に見えるが、そうではない」が主張。真逆。
エ	最終段落の But のあとの文+締めの一文そのまま。

 この形式のコツ 英語の主張は「一般的な見え方→But→本当のこと」の順で書かれる。最終段落に But があったら、その直後が筆者の一番言いたいこと——Butは主張の矢印だ。

本文の設計図(段落メモ)——復習は「1段落1行」でまとめ直すのが最短

①	問い=1人が家で1日に使う水は?→約200リットル(コップ1,000杯)
②	内わけ=ふろ40%が最大。節水はまず風呂場から
③	見えない水=ハンバーガー1個に約2,400リットル。物の中を水が旅している
④	世界=約20億人は安全な水を簡単に得られない。水くみが学校の時間をうばう
⑤	行動=まず知る→シャワー1分・じゃ口を止める・選び方。「水は無限ではない」

もう一段のぼる 数字の英語(thousand / million / billion)をメモに直す習慣は、資料問題全部で効く。No.2(訪日観光客)はグラフが「時間の変化」になる——数字の上下に「理由」がつく型だ。

先生向け・運用ノート 自校作成・難関校向け(本文約450語+表)。SDGs・家庭科・地理と接続できる教科横断題材。問5の「39対40」は暗算ミス誘発型——「紙で計算」の習慣づけに最適。配点は問1~4各15点・問5~6各20点。